

関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑦長瀬の自然と歴史を学ぶみち

2021年1月8日 池内淑皓

2020年10月15日(木) 今回もGO TOトラベルを利用して長瀬周辺の関東ふれあいの道を歩いた。

ホテルは35%引きで、旅行会社から手続きをすると、埼玉県内で使用できる地域クーポン券が宿泊費用の15%分もらえるので、町で昼食とお土産費用に使用出来てお得。



(自然歩道連絡協議会)

⑦長瀬の自然と歴史を学ぶみち 概念図



「行程図」上長瀬駅→岩畳→長瀬駅→宝登山→山形バス停→皆野駅



今日の鉄道最寄り下車駅は 秩父鉄道 上長瀬駅



和風の駅舎とは珍しい



駅前のロータリーを南に直進すると、200mで荒川沿いの海岸道路に出る



道標の傍らには、町の観光案内図もあるから、案内図に従って歩き始める



途中に県立「自然の博物館」があるから立ち寄って、少し知識を仕入れてゆく



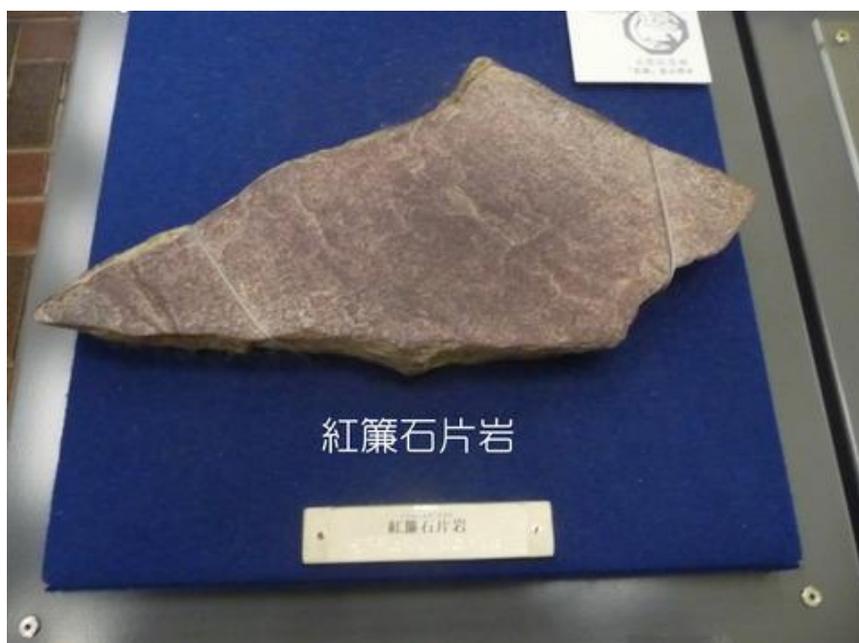
1億5千万年前の秩父地方だと云う。遠浅の暖かい海底となっている



秩父地方岩石群の標本



「緑泥石片岩」 Mg、Fe、Al 等含む珪酸塩(Si)の変成岩、緑色をして層状に剥がれる



紅簾石（こうれんせき）、石英、絹雲母を含むマンガン系の高圧低温形の変成岩



中生代三畳紀に属する秩父系は珊瑚虫、放散虫等の化石が見られる



長瀬（荒川）の川床に形成する緑泥石片岩



見事な緑泥石片岩の中を荒川が流れる（国指定史跡、天然記念物）



記念に一枚パチリ



荒川を挟んで対岸の岩質は、秩父古生層の岩質と全く異なり、対岸はもともと陸地であったと言う
その接点に荒川の浸食を受けたと、博物館の説明にある



長瀬を離れて商店街を抜ける、コロナの影響で人出が少ない



関東ふれあいの道は、秩父鉄道長瀬駅前を通過して、そのまま宝登山に向かう



駅前の道標と宝登山神社の鳥居



神社への途中に文化財の「旧新井家住宅」が展示されているので見学して行く
享保2年（1745）の棟札がある板葺き農家の典型的な住居として、重文指定となっている



「宝登山神社」神武天皇、大山祇神を祀る秩父三社の一つ、社殿は江戸時代の造り



全旅程の歩行行程を考えて今日、宝登山へはロープウエーで上る



標高 300m程を 6 分で上る、後方の山並みは③高原牧場を歩くみち登谷山、釜伏峠の道が良く見える



宝登山（497m）三等三角点が立つ、秩父方面の見晴らしが良い



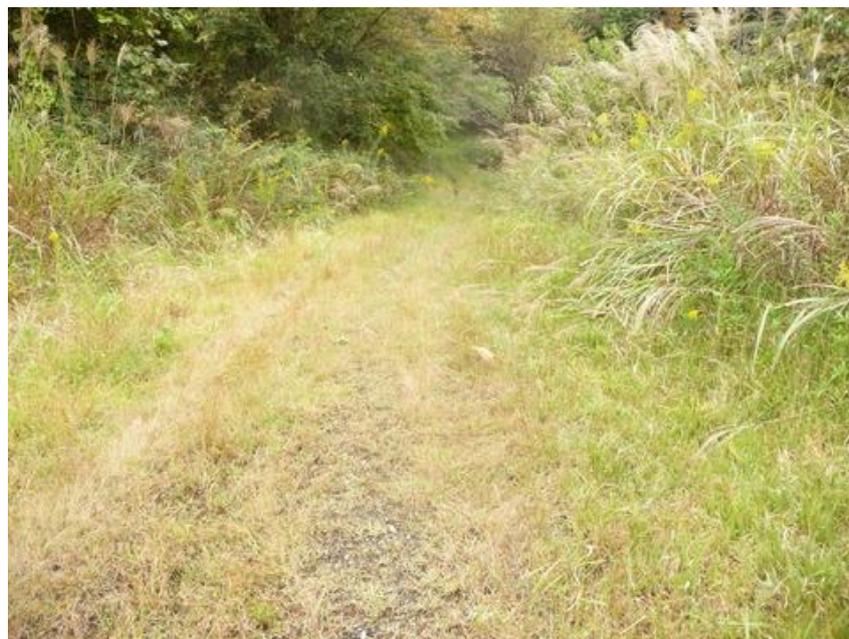
宝登山神社、奥の宮



山形、根古屋方面は西へ一気に下る



一旦林道に出る



高原状の平坦な林道に出ると、バス停は近い



県道に出て南へ 300m程歩くと、山形のバス停に着く 12:40 着



13：12 発皆野駅行きの町営バスに乗車



20分程で秩父鉄道の「皆野駅」に着く、今夜は長瀬の旅館にご宿泊。

[参考タイム] 上長瀬駅(9:25)→長瀬駅(10:40 見学含む)→宝登山神社(10:50-11:00)
⇒ロープウエー⇒宝登山(11:45-12:00)→山形バス停(12:40-13:12)→皆野駅 13:30

この項完

「関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑧秩父盆地を眺めるみち」に続く